



## 福井県中小企業家同友会

vol.80 March. 2014

2014年3月28日発行

〒918-8205 福井市北四ツ居1丁目34-19 サンロードビル1F Tel/0776-54-9699 Fax/0776-54-9991 E-mail/info@fukui.doyu.jp



## 異業種交流サロンを開催

「異業種交流サロン」

異業種交流部会長  
ベルファックス㈱ 代表取締役

佐藤 義一 会員

異業種交流部会では、今まで会員企業の取り扱う商品を主に、展示会等を開催して参りましたが、今年度からは方向を変え、ビジネス交流を拡大する手法としました。会員同士の深い結びつきを実現するために、「知り合い、学び合い、助け合い」の3つの目標を掲げ、その初めての開催を「異業種交流サロン」として企画しました。

内容は、2時間の開催時間内に、3名の発表者が1人30分の持ち時間を受け持ち、20分を企業の商品、サービス等のアピール、残り10分を参加者による質疑、提案、応答等にあてました。計3名1時間半の後、残る30分は再度トータル的な質疑応答の時間として運営しております。発表方法は各社自由に設定していただき、実際に商品を持ち込んでの説明や、商品カタログ・会社案内・経営者プロフィール・経営理念などの資料の配布、時にはパソコンとプロジェクタを使っての説明など、いろいろです。

第1回の開催を12月19日に行い、3月27日までの計4回開催しました。その結果、平均27名、通算100名以上の方が参加され、会場の事務局はほぼ満杯に近い盛況となりました。発表者も計12名に上り、参加後の評判がとても良く、60パーセント以上の人が毎回参加されているという好評ぶりです。

今後、この状況に気をよくしてさらに工夫を加えて交流サロンを開きま

すので、意欲のある企業経営者は、是非とも発表者として参加ください。その際は、事務局の方に連絡をお願いします。

## 経営指針成文化フォローアップセミナー

# 経営指針成文化 フォローアップセミナーを終えて

レポート 青木 克博 経営労働委員長 (株)スタートアップ経営 代表取締役



2月8日(土)、福井県中小企業産業大学校において、昨年8月10日(土)11日(日)の両日、同校において(有)第一コンサルティン・グ・オブ・ビジネスの丸山博先生を講師にお招きした1泊2日の合宿セミナーのフォローアップセミナーが開催されました。

今回は、前回参加した会員が作成した経営指針に基づいて、これまでの約半年間で、どのような実践を行ってきたのかを順に発表しました。

一人の持ち時間は約20分で、経営理念、経営方針、経営計画に沿ってどのような行動をとり、社内共有しているかなどについてディスカッションしていきました。

結果として発表者の多くは、他の会員から厳しい目で指摘を受けることになりましたが、客観的視点からの指摘はとても暖かく、今後の活動の大きなヒントとなるものばかりでした。

前回の成文化セミナーに始まり、今回のフォローアップセミナーに参加してみて、自社と経営者自身の立ち位置を再確認し、新たに企業を創造する気持ちで抜本的に事業を見直すきっかけとなったことはもちろん、経営指針を考えることで、経営環境に振り回される経営から、環境変化を的確にとらえ、ぶれない座標軸を持った経営を追求する姿勢が身についている気がします。



## 役員研修会

[第1部]

### 三位一体の実践について

—— 経営指針と社員教育に重点を置いて ——

[第2部]

### 支部づくりによる運動の活性化について

—— 「例会づくり」を通して、「経営指針づくり」+「語り部づくり」 ——

レポート 古市 恭也 副代表理事 フリックイン福井(株) 代表取締役

3月3日、2部構成の役員研修会をエースイン福井会議室で開催。講師には、前回同様愛知同友会代表理事の加藤明彦氏をお迎えしました。

第1部では、まず三位一体(経営指針、社員教育、共同求人)の一つである経営指針を作る意義が話されました。中同協発表の「中小企業における労使関係の見解(「労使見解」)に基づき、生産を豊かにすることよりも人間らしく生きることがを尊重した「人を生かす(人間尊重)経営」が大事とのこと。社員共有については、同業他社との違いを客観的に明確にすることで社員と「行動をする目的」を共有し、やらされ感をなくすことだと述べられました。



テーブル討論では、岩井代表に提供いただいた経営指針書を材料に、各社が市場や環境の変化に対応できる経営をしているかを話し合いました。

実際の指針書を見ながらだったので、より深くその必要性が実感できたのではないかと思います。

第2部のテーマは丹南支部設立を受けてのものでした。何といっても同友会は例会が大事なもので、日々の会員同士の交流の中から真の経営課題を発見して例会テーマに取り上げることが重視して欲しいこと、「同友会で学び、会社で実践し、会社が発展する」という同友会の魅力を語れる「語り部」となり、そうなることでまた自社の成長を実感して欲しいことを強調されました。

また、内田副代表も自社の経営指針書を加藤氏に見てもらい、懇親会の席でもいろいろとアドバイスをいただいております。これも役員研修会のメリットではないかと思いました。

## 2月県例会

# 失敗の数々から学ばせていただいたこと

—— 人生は常に今日から、ここから! ——

報告者

益永 哲郎 会員 益茂証券(株) 代表取締役会長



### 会社概要

#### 益茂証券(株)

■福井市中央3丁目5-1  
■Tel/0776-23-2830(代)  
■Fax/0776-21-9666  
■創業/明治6年  
■従業員数/56名  
■業務内容/証券業

2月18日、リライムにて2月県例会が開かれ、「ひらがな名前入り和歌葉書」で知られる益永会員が、これまでの歩みや実践、現在の心境などを楽しい映像を交えて報告。「若い頃の数多くの失敗が自分の成長の糧になった」「失敗・悩みに負けない自分になる為、読書や経営の師と仰ぐ方の助言などを得て、日々努力した」「自分を駆り立てたのは、経営者として、また一人の人間として常に成長したいという強い思いだった」と述べました。

また、「経営者は孤独な存在であるからこそ、社内の誰よりも学び、働かなければならない」「学びを実践に変えていくことで道も拓け、運も引き寄せる」と訴え、リーマンショック後の厳しい経営環境が続いていた頃のことを、「誰も知らない地に逃げてしまいたいと本気で思ったこともあったが、そこで他人のせいにならずに乗り越えて良かった。苦しい時期を支えたのも学びと自分に示唆を与えてくれた人の力だったと思う」と語りました。

そして現在、経営を社長に委ね、会長職にありながら一人の営業マンとして365日、休みなしで営業に飛び回っている自身の姿に対し「多くの人との出会いも楽しい。業界に身を置いて35年、今、一番幸せで輝いている自分を見つめている」と結びました。

経営のノウハウではなく、経営者としての覚悟や誇り、そして自己研鑽について深い学びを得た例会でした。

## 3月県例会

# 中小企業に頼られる企業とは

学び続け、実践し続けて

報告者

奥村 繁子 会員 社会保険労務士法人リヴル総研 代表社員



次々と独立していったこと。腹は立つが、社会の役に立つ人間を送り出したことで社会から受けた恩を一つ返せたと割り切るようにした。失敗を重ねながらここまで来て、姪の資格取得で本物の後継者ができたと安心してのこと。昨年12月に社会保険労務士法人を作る準備が整い、(株)リヴル総研と(有)オーエスコンサルタントを一旦解散。この3月に新会社を作り上げたことなどが述べられました。

3月11日、リライムにて3月県例会を開催。奥村会員が、公務員から化粧品販売会社の支店長を経て、現在に至るまでの経験と実践について報告しました。

リベート制営業を行っていた際に起きた問題。同友会と出合い、男性社会や経営を勉強させて貰うつもりで入会したこと。分からないことばかりの中、殆どの全国大会に参加して多くの友人が出来たこと。挫折そうな時には励まして貰い、分からないことを一緒に学んできたこと。だから「事業をやつていこう」という今の自分があり、何があっても同友会をやめるつもりはないことなどを順に語っていました。

報告の中心は後継者の育成と承継についてでした。後継者にと考えていた社員が次々と独立していったこと。腹は立つが、社会の役に立つ人間を送り出したことで社会から受けた恩を一つ返せたと割り切るようにした。失敗を重ねながらここまで来て、姪の資格取得で本物の後継者ができたと安心してのこと。昨年12月に社会保険労務士法人を作る準備が整い、(株)リヴル総研と(有)オーエスコンサルタントを一旦解散。この3月に新会社を作り上げたことなどが述べられました。

更に、経営理念に少しも近付いていないことを反省点に挙げ、理念が遠い遠いところにある皆ピンとこないのかもしれない、改めて考えてみるつもりだと奥村会員。自分はどんなことがあっても中小零細企業の味方。皆さんから受けたご恩を、必ず皆さんのお役に立つことで返したい。また、これからは自分を育んでくれたふるさとの福祉や環境整備にも力を尽くしていきたいと締めくくりました。

### 会社概要

#### 社会保険労務士法人リヴル総研

■坂井市丸岡町  
ソフトパークふくい3-7-1-14  
■Tel/0776-68-1600  
■Fax/0776-68-1610  
■創業/平成6年  
(社労士業務開始)  
■従業員数/7名  
■業務内容/  
社会保険労務士業務

## 丹南支部2月例会

# 負ける戦いをしない経営を実践、私の40年

報告者

塩谷 昭文 会員 (株)明光建商 代表取締役社長



2月19日、武生商工会議所の会員サロンにて丹南支部2月例会が開催されました。報告者は(株)明光建商の塩谷会員でした。

塩谷会員は創業

当時のことを「電気屋がペンキ屋になった。呼び名は一字変わったただけだが実際は大違い。電線製造会社の社員がいきなり防水塗装業に転じた。素人の集まりでわずか3名の小さな会社が生きて道を必死で考えた」と振り返る。

ネットワーク型の戦略をとり、防水業として自社での技術獲得と人材育成にも力を注ぎ、数年で急成長。防水塗装の業界で県内トップシェアを実現できた。

その後、現在の事業領域の核になる「省エネ・環境分野」にも着手。東北大震災や高度成長期につくられたインフラの劣化など、復興や再生が課題となり、国においても総合的な国土強靱化の施策が進められていく環境

下で追い風を受けている。常に時代の一步先を見据える力が経営者には必要だ。

明光建商が経営戦略の根本的な考え方に活かして実践しているのは、ランチェスター戦略。「中小企業は弱みや強みを見極めて、地域ナンバーワンになること」と塩谷会員は語った。

わずか3名の小さな会社からスタート。常に社員と共に我社の進むべき方向を共有し、課題をひとつ一つ乗り越えてきた。今日では40名の社員を抱える防水塗装業のグループ集団となったが、経営の根本的考え方は変わらない。「まず地域でナンバーワンになる。負けない経営を指針に今後も進化をめざしたいと思う」と熱く語り、参加者も自社の強みを見直す良い機会となった。

### 会社概要

#### (株)明光建商

■越前市葛岡町8号10-1  
■Tel/0778-23-1181  
■Fax/0778-24-0530  
■創業/昭和49年9月  
■従業員数/40名  
■業務内容/防水工事  
外壁・屋根・内装塗装工事  
新築・リフォーム内装工事  
壁面改修

## 第44回中小企業問題全国研究集会 in 広島

# 経営理念が自社の事業領域と そこでの戦略を決める大きな力となる

レポート

内田 光紀 副代表理事 (株)けんこーや 代表取締役



2月13・14日に広島で開催された、第44回中小企業問題全国研究集会に岩井代表とともに参加しました。

私が参加をした第3分科会は、過疎化が進む岡山・山形北部で、公共工事を主体に建設土木業を営む、(株)小坂田建設の二代目の小坂田英明氏による「倒産の危機から、地域の笑顔創造カンパニーを目指して」でした。

業として、事業を通じて、地域の笑顔創造カンパニーを目指します」です。さらにそこから生まれた戦略が、過疎と高齢化いう地域性を逆手に取り、建設業の枠を越え、「お家周り町医者」をキャッチコピーに、日々の暮らしの困りごと全てに対応するというもの。このサービスが地域住民に浸透し、民間需要中心へとシフトしたことで、業績が改善して黒字化を果たします。

同社は先代の頃は非常にずさんな経営で、気がついた時には10期連続赤字で債務超過、5年前には倒産の危機に直面。専門コンサルからも、再建を断念せざるを得ない見解ばかりで、「なんていい加減な社長と後継者だったか」と自戒の念を述べておられました。

本分科会での私の学びは、『経営理念が自社の事業領域とそこでの戦略を決める大きな力となる』、『理念の外部発信により、自社の存在意義が地域の中にも浸透する』です。経営指針作成と発表、それに基づいた経営は、同友会の学びの根幹です。積極的に自社の経営に同友会の学びを取り入れて行きましょう！

その頃、知人の奨めで同友会の経営指針成文化講座に参加。会社再建の計画作りを行ないました。その中で社員を巻き込みながら生まれた経営理念が「私たちは笑顔溢れる建設サービス

## 青年部会3月例会

# 待ちから攻めへ

—— 同友会での学びからの挑戦 ——

報告者

福島 実 会員 (株)ホクサン理商 代表取締役

3月7日、今期最後の青年部例会は、(株)ホクサン理商の福島会員の報告でした。

代表になって丸7年、同友会歴も7年。その7年で同友会のメンバーから学んだことと、実践してきたこと、目標を報告していただきました。

2年半前に経営理念を成文化し、今強い会社の組織づくりを目指していること、3つの経営理念の一つである「社員の安定した生活や働きがい」を常に意識している姿勢には、多くの参加者の胸を打つものがあつたようです。

さらに、「変化していく業界の中で、やってきたことを進化させ、それを発揮できる市場を求めていく」という目標も発表していただきました。

### グループ討論

では、「あなたの会社は変化していますか？また、どのように変化していますか？」をテーマに各テーブルで意見

を出し合いました。特に「外的要因に左右された変化ではなく、自らの強みを持つて進化していくこと」という意見には、これは忘れてはいけない！と感じました。



### 会社概要

#### (株)ホクサン理商

■福井市下筋生田町2-1-1  
■Tel/0776-34-2717  
■Fax/0776-64-2836  
■創業/昭和54年2月  
■従業員数/3名  
■業務内容/工業用、医療用、学校教材用の理化学機器の販売

## 2014賀詞交歓会

# 会社の発展は社員の幸せから

—— 全方向から能力を引き出す、社員第一主義経営 ——

講師

樋口 友夫 氏 (株)天彦産業 代表取締役社長

1月24日、リライムにて福井同友会2014年賀詞交歓会が開催され、述べ93名の参加がありました。

第一部・新春講演会の講師は、樋口友夫氏。「会社の発展は社員の幸せから」と題し、社員を大切にする経営の重要性をお話いただきました。

同社は「社員第一主義」を経営理念に掲げており、その原点は会社の業績が悪化した際に樋口氏が「社長ができることには限界がある」と感じたとところにあります。また、樋口氏は顧客第一主義を掲げる企業が多いことを挙げ、「顧客第一主義は当たり前だが、それを実現するのは社員一人一人の頑張りである」と強調。顧客と接する社員のやる気を引き出すこと

が経営者の仕事だと訴えました。更に「社員の価値は業務だけでは見つけられない」と続け、実施している表彰や報奨制度、イベントなどの例を挙げ、日常の様々な場面で社員に目を配っている様子がよく分かりました。

最後に、新卒採用についても触れ「会社が学生を選ぶのではなく、学生が人生を懸けて会社を選ぶもの」と語り、学生と誠実に向き合うことをポイントに挙げて講演を締めくくりました。

特に印象に残ったのは樋口氏の「おたがいさん」の考え方、「経営者は社員を大切にすることが仕事、社員はお客様を大切にすることが仕事」という言葉でした。こうして会社としての土壌ができていくのだと、感慨深く聞かせていただきました。

そして、第二部・祝賀会是一堂に会した会員が新年の慶びを分かち合うと共に交流を図り、一層の親睦を深める機会となりました。



# NEW MEMBER



# 会員紹介

# INTRODUCTION

## 株式会社 シーアンド

代表取締役

**松永 和治** 会員

(2013年9月入会)



### 会社概要

住所／福井市高木中央3-406 TSUビル2F  
Tel / 0776-52-0596  
Fax / 0776-52-0597  
業務内容／総合広告会社(広告業務・戦略系コンサルティング業務)

## 大澤義人税理士事務所 大澤社会保険労務士事務所

代表

**大澤 義人** 会員

(2013年10月入会)



### 会社概要

住所／福井市下森田新町15-54-70  
Tel / 0776-63-5610  
Fax / 0776-63-5815  
業務内容／税理士業、社会保険労務士業

## 日本生命保険相互会社 中嶋オフィス

丹南  
支部

代表

**中嶋 和子** 会員

(2013年10月入会)



### 会社概要

住所／越前市国府1-3-15  
Tel / 0778-24-3855  
Fax / 0778-23-5644  
業務内容／生命保険業、損害保険業

## ケアバンク 株式会社

丹南  
支部

代表取締役

**赤松 利栄** 会員

(2013年12月入会)



### 会社概要

住所／鯖江市糺町14-6  
Tel / 0778-51-1711 Fax / 0778-51-2717  
業務内容／認知症対応型共同生活介護グループホーム、認知症対応型通所介護サービス

## 山本・寺田法律事務所

丹南  
支部

代表

**山本 晋太郎** 会員

(2014年2月入会)



### 会社概要

住所／越前市蓬萊町6-24 サンライフ小野谷  
Tel / 0778-25-0271  
Fax / 0778-25-0272  
業務内容／弁護士

## 株式会社 オーケン

丹南  
支部

取締役会長

**大刀 隆雄** 会員

(2014年2月入会)



### 会社概要

住所／越前市四郎丸町53-5-1  
Tel / 0778-23-6700  
Fax / 0778-23-6750  
業務内容／住宅リフォーム、陶板浴営業、抗酸化グッズ及び健康関連事業

## 第25回 定時総会のご案内

### 多様性こそ企業価値の源泉

#### ～アンチ価格競争マル秘大作戦～

明日の飯の種をつくるために奔走し、経営戦略や社内風土の改革等、「やったらわかる」の心意気で社員を巻き込んでいきます。現状を打破するヒントが満載の報告です。



### 講師 橋本 久美子 氏

株式会社 吉村 代表取締役社長  
東京中小企業家同友会  
品川支部所属

日時

**4月26日(土)**

受付開始 14:00 開会 14:30

第1部／14:30～16:00 第25回定時総会 議事

第2部／16:10～17:30 記念講演会

第3部／17:40～19:10 懇親会

※懇親会参加の場合 会費 3,000 円

会場

**リライム ギャラリーホール&カルチャーホール**

## 編集後記

私が入会した時、知り合いも少なく、敷居もとても高く感じて、会合にはほとんど参加していませんでした。それが何のきっかけか、広報委員会に入ることになってしまい、初めの1年はほとんど欠席していました(笑)

しかしある時、新入会員さん紹介のインタビューに行ったとき、「このような会は本当に有難いね」と、しきりに褒めてくださる方がいて、同友会の活動を見直すきっかけになったのです。

委員会に入ってよかったことは、会員の時には話も出来なかった方々と話が出来るようになったことです。顔見知りも増えました。今ではお互いに協力しあったり、仕事の相談にのってもらっています。

皆さん経営者で、仕事と同友会運動との両立は大変だと思いますが、そのような状況だからこそ「自利利他」の精神をもっていきたいものですね。

広報委員会 山内 喜代美 会員

(株)ドリームワークス 代表取締役